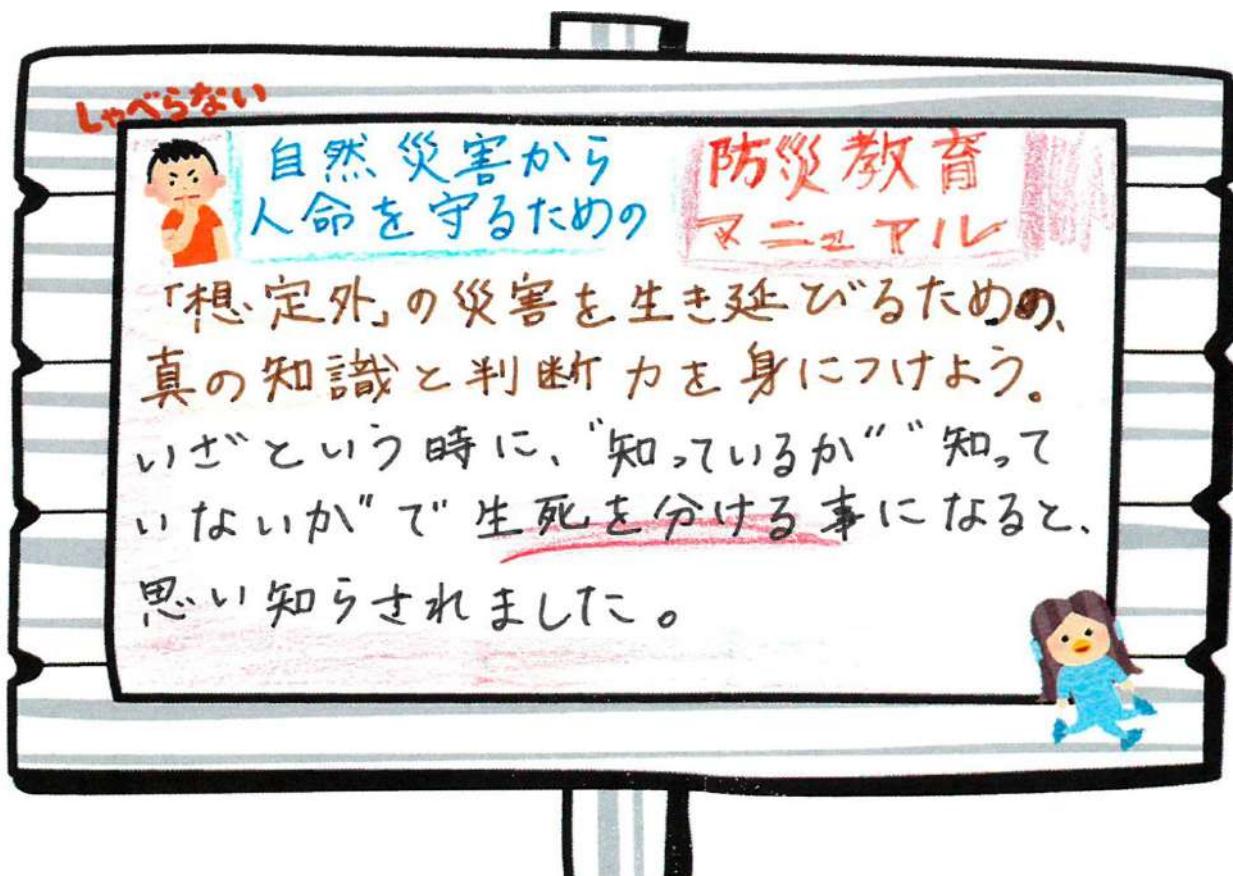
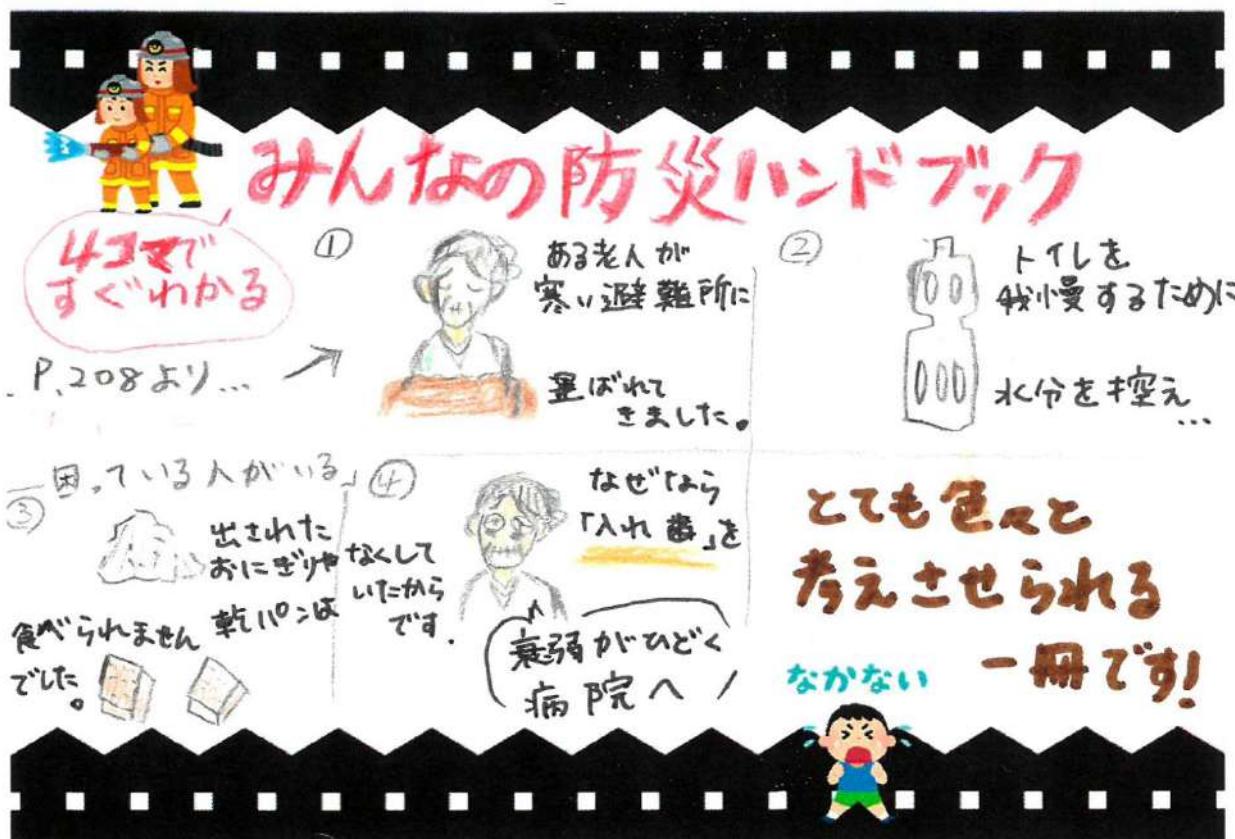
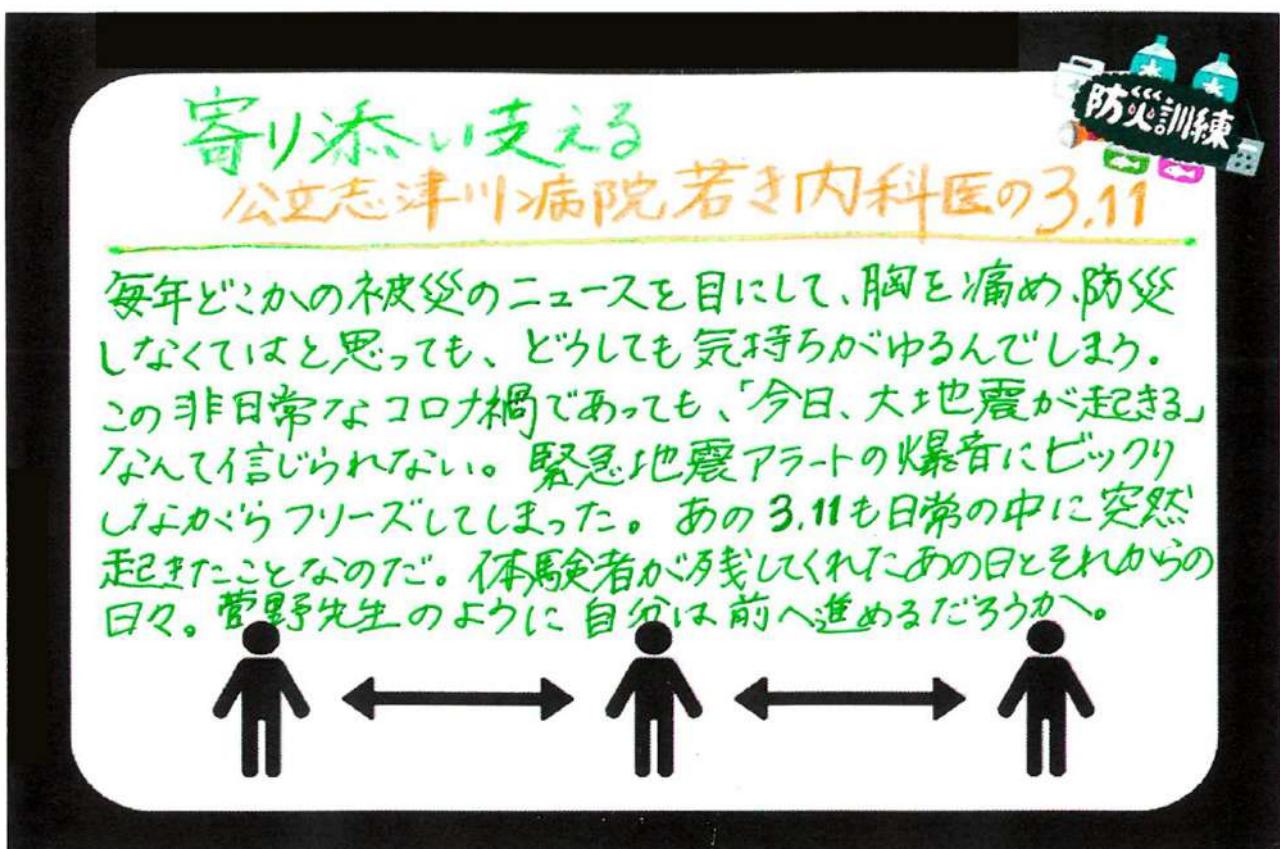
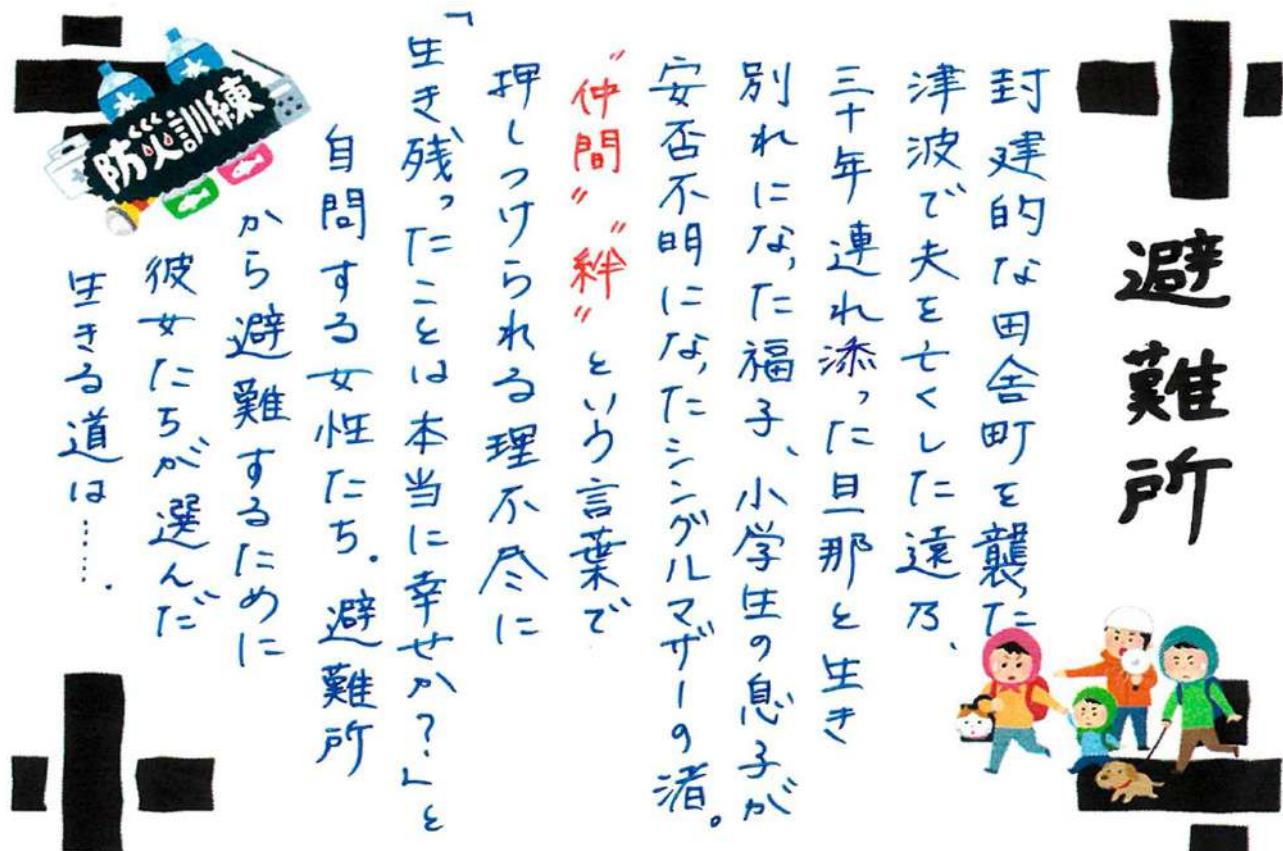




	書名	著者名	請求記号
1	4コマですぐわかる みんなの防災ハンドブック	草野かおる著	369/Ku
2	自然災害から人命を守るために防災教育マニュアル	柴山元彦、戻忠希著	369/Sh
3	被災ママに学ぶちいさな防災のアイディア40:東日本大震災を被災したママ・イラストレーターが3・11から続けている「1日1防災」	アベナオミ著	369/Ab
4	寄り添い支える：公立志津川病院若き内科医の3・11	菅野武著	498.8/Ka
5	避難所	垣谷美雨著	913.6/Ka
6	生き残ってました。:主婦まんが家のオタオタ震災体験記	ひが栞著	369/Hi
7	はじめるとりくむ災害薬学	名倉弘哲、山内英雄編集	498.8/Na
8	正しく知る心的外傷・PTSD:正しい理解でつながりを取り戻す	水島広子著	493.7/Mi
9	レスキューが教えるプチプラ防災	辻直美著	369/Ts
10	人が死なない防災	片田敏孝著	374/Ka
11	穂高小屋番レスキュー日記	宮田八郎著	786/Mi
12	そのとき薬剤師は医療チームの要になった:ドキュメント東日本大震災	日経ドラッグインフォメーション東日本大震災取材班編	498.8/Ni
13	津波災害:減災社会を築く	河田恵昭著	369/ka
14	地震イツモノート:阪神・淡路大震災の被災者167人にきいたキモチの防災マニュアル	地震いつもプロジェクト編	S/07/482
15	震災にあった盲導犬クララ	石黒謙吾構成、小山るみこ絵	369.2/6
16	地球温暖化の目撃者	小西雅子編著	451/ko







生き残ってました。

2011年、3月9日の日記から始まる本書は、被災経験者「地震くるよ」という言葉を「年寄りの繰り言」を聞き流していく著者自身の2日後に被災者となる、3月11日～12月10日までの記録です。道を覆うヘドロ、山の上に積み重なるガレキ、漂う悪臭、水の出ない蛇口、流れないトイレ……9年前、あの時、被災者自身の日常を取り戻すために何をして何をしなや、自分自身を守るために何をすべきことか書かれてあります。

おさない



はじめる とりくむ

災害薬学

地震や水害など大きな被害を出している災害が頻発しています。電気が止まり、患者情報が見れないと、さらに自身も被災しているかもしれない状態で、薬剤師として、何が出来るでしょうか？

いざという時の為に読んでおけば、きっとあなたの助けになってくれるはずですよ。



正しく知る、心的外傷・PTSD




本書は主に「自然災害」や「事故」における心的外傷について書かれています。自分だけや怖しい体験をした時とは違い、災害では同時に大切な人たちを失っている場合もあります。身近な人々の心的外傷を抱えた時に、自分がやれること、やってはいけないことを正しく理解しておきましょう。

**レスキュー隊が教える
プロチプロ 防災**

辻直美

防災グッズ。いつかは備えないと…でも面倒だなあ……そう思っている人も多いと思います。大地震はいつか来ます。明日かもしれないし、100年後かもしれない。でも来ます。わずかしくないです。これを見て、さあと準備しちゃいましょう。

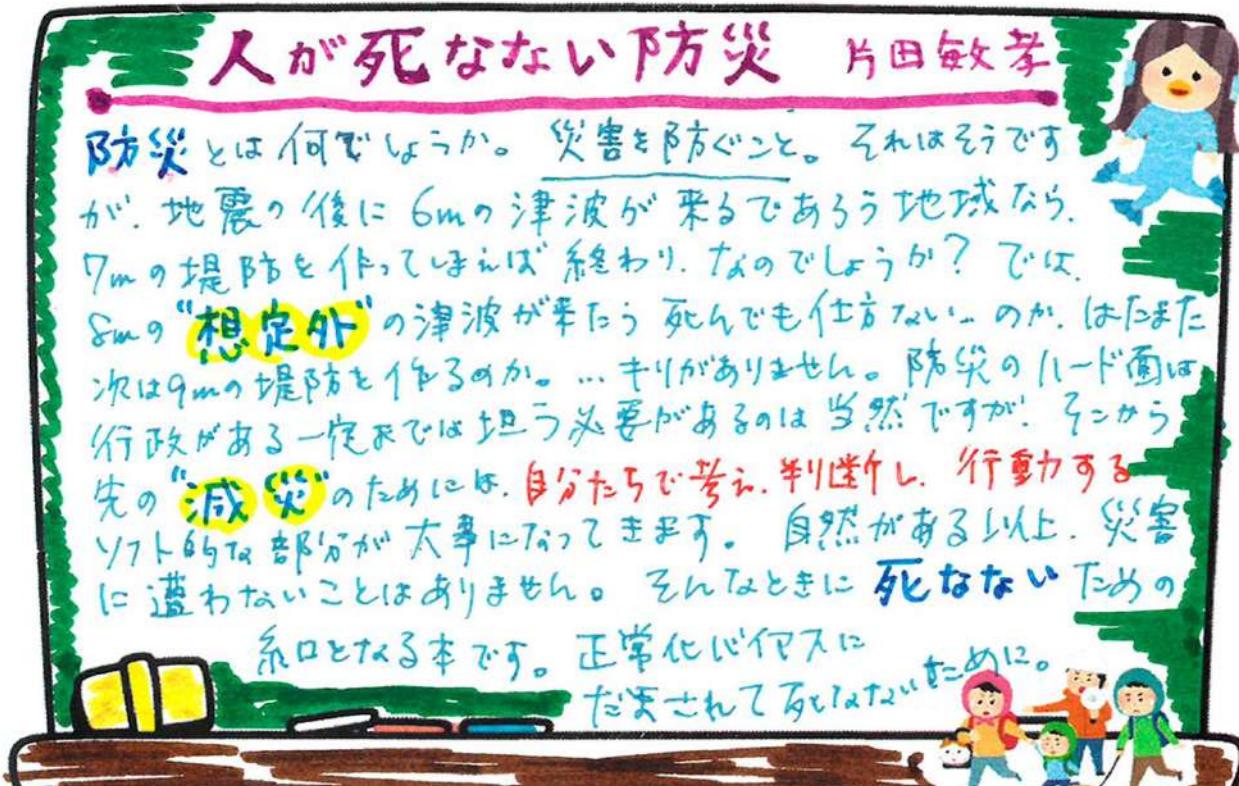
断捨離ついでに、家具を固定して、滑り止めシートを貼り、非常持ち出し袋は、この本にある本当に必要なものの一覧で作るとかなります！（くりあふせ）（その2つから…）

（P40~49 の携帯品、アイテム解説）



人が死なない防災 片田敏孝

防災とは何でしょうか。災害を防ぐこと。それはそうですが、地震の後に6mの津波が来るであろう地域なら、7mの堤防を作ておけば終わり。なのでしょうか？では、8mの“想定外”的津波が来たら死んでも仕方ないのか。は「ほ」た次は9mの堤防を作るとか。…やはりあります。防災のハード面は行政がある一定ではどう必要があるのは当然ですが、そこから先の“減災”的な部分が大事になってきます。自然がある以上、災害に遭わなきことはありません。そんなときに死なないための糸口となる本です。正常化バイアスに陥るから。



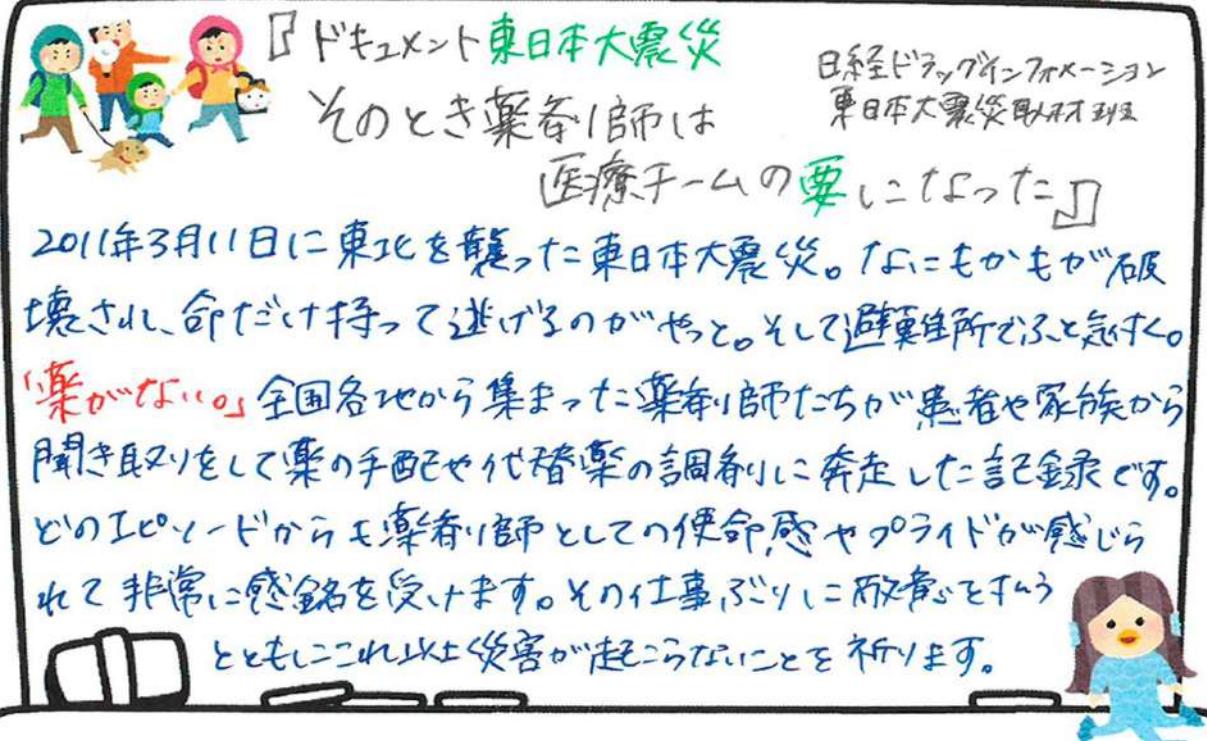
2018年南伊豆で
シカヤマク事故で
死んでいた著者
によるレスキュー日記
防災とは多く
毛色は違うかもしません。しかし、山での災害もまた、災害。2014年に
御嶽山噴火が言ひ憶に新しいですね。そいつた火山災害以外でも、
山登りやレジャーにおいても、災害というものは発生します。滑落、遭難、
低体温症から死んでしまった人達もいた。著者は、たくさんの人々とのみで王たる穂高
小屋番として、人々をレスキューしてきました。命懸けの前提ではないが、
ちょいと油断で、あまりと70%エタノールでも死んでしまいます。生と死を分けるのは、ほんとうにちがったことなのです。

＊下山者と登山者がそれ違うときは、下山者は山側へよけ、登山者は谷側からそれ違う。下山者が谷側でバランスをくずすと
そのまま落っこちてしまう。というときはとても納得いちゃない



ドキュメント 東日本大震災
そのとき薬剤師は
医療チームの要になってしまった

2011年3月11日に東北を襲った東日本大震災。そこにもかかげて壊され、命だけ持って逃げたのかやうとして避難所でふと気がつく「薬かばな」。全国各地から集まつた薬剤師たちが患者や家族から聞き取りをして薬の手配や代替薬の調剤に奔走した記録です。どのエピソードからも薬剤師としての使命感やプライドを感じさせて非常に感銘を受けてます。とり仕事ぶりに敬意をもつて、とともにこれからも災害が起らぬことを祈ります。





津波災害 減災社会 を築く

河田 恵昭

東日本大震災でも大きな被害をもたらした、
“津波”。地震については考えても、津波
についての知識や備えはどうかえしいの
ではないか。津波について知り、備える
ために読んでおきたい、1冊



まどらない

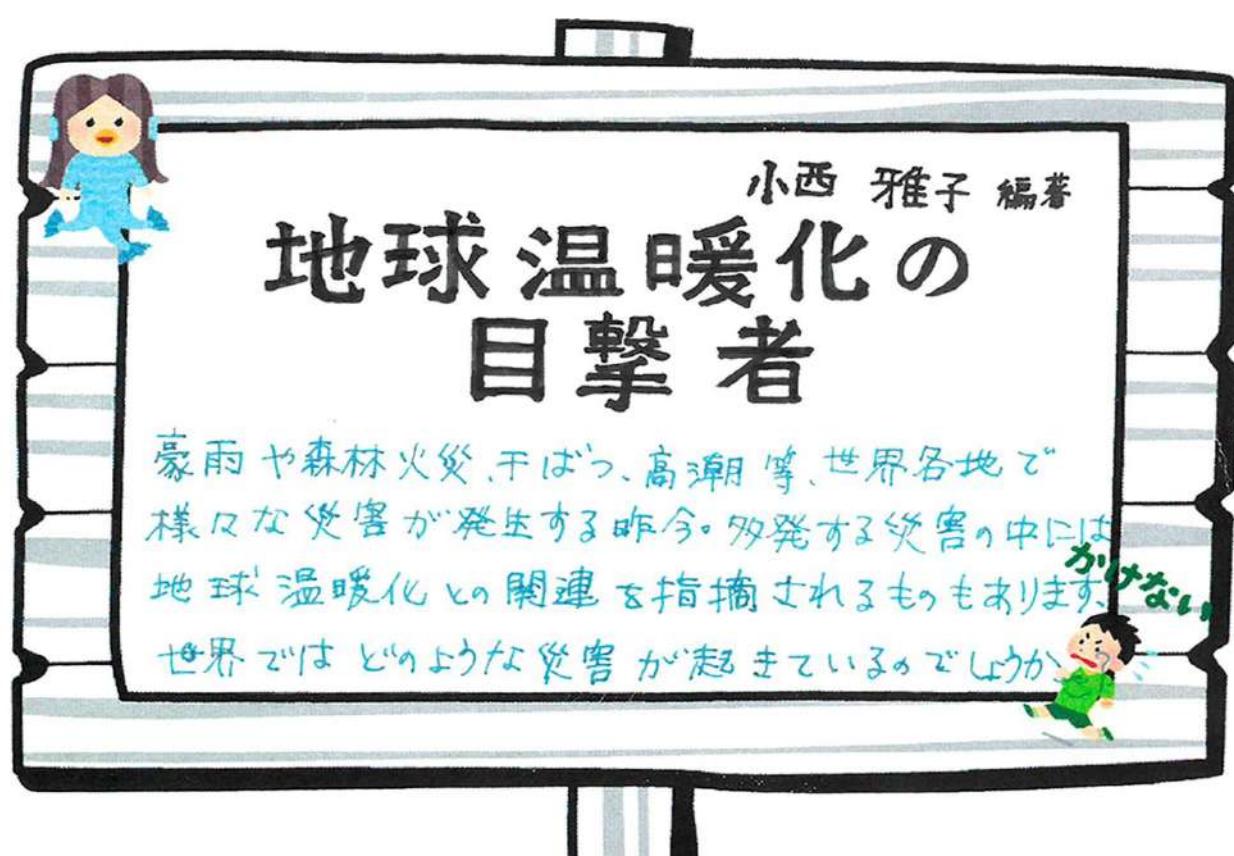
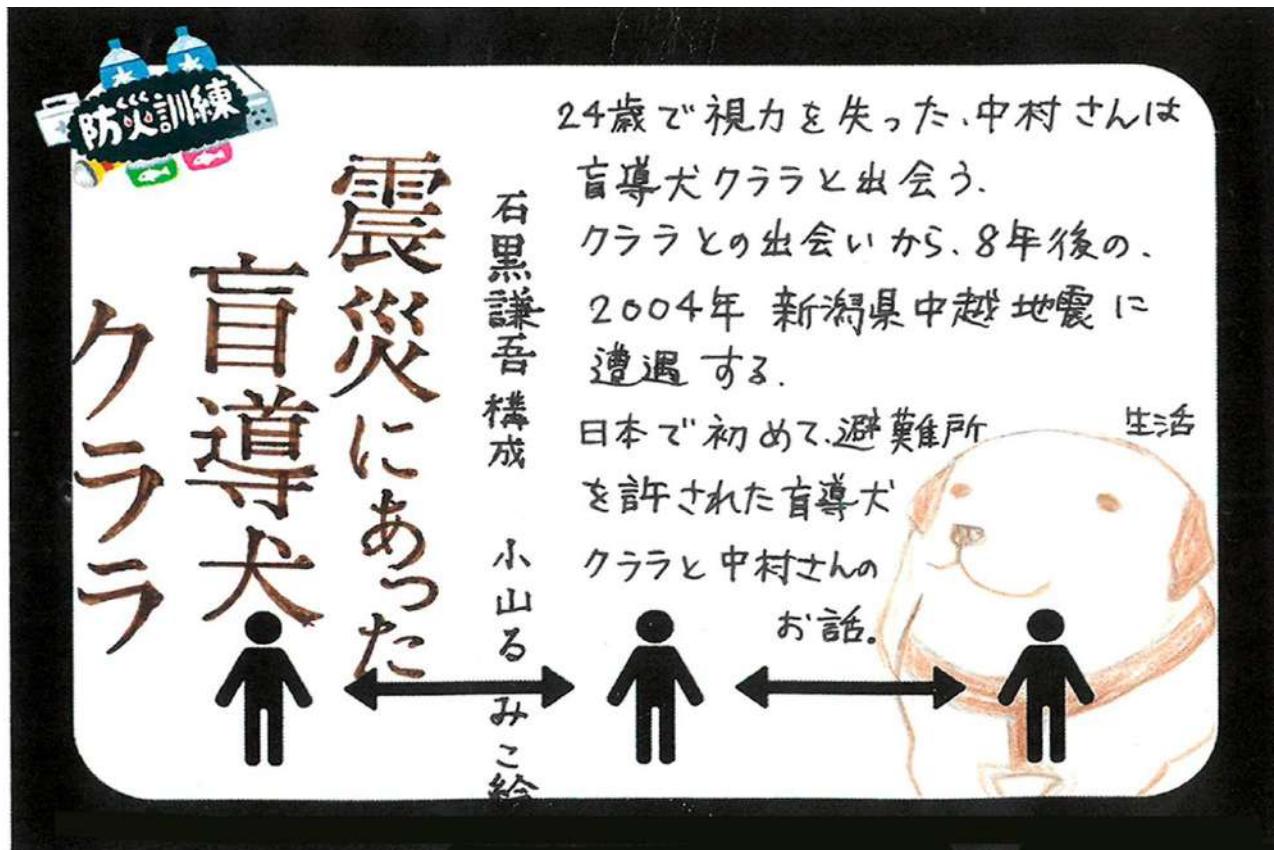


地震イツモノート

阪神淡路大震災の被災者167人に
て作成されたキモチの防災マニュアル。
近年、非常時用の準備をしたり、耐震を考え
備えたりすることは、知識としては知っているが、
この本はイラスト入りで具体的でわかりやすい。

ex. 水が使えないより皿はラップをいて使用
公衆電話は小銭が必要など







MEMO





MEMO





愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2020年 8~9月

防災週間 学ぼう！ いざという時のための「防災知識」と「災害医療」

